

科目区分	専門基礎分野	科目名	形態機能学Ⅲ (消化器、内分泌)	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学 期	第1学期
担当講師	院内講師				
科目目標	1. 消化器系の構造と機能を理解する。 2. 内分泌系の構造と機能を理解する。				
授業計画	第1回～7回 口腔の機能と構造 (講義) 2章(口腔の運動と感覚、咀嚼機能 他) 咽頭・食道の機能と構造(嚥下機能、 食道の蠕動運動 他) 1) 胃の構造と機能 2) 小腸(十二指腸、空腸、回腸)の構 造と機能 3) 大腸(結腸、虫垂、直腸、肛門)の 機能と構造(排便反射 他) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 腹膜		第8回～14回 自律神経による調節 (講義) 6章 1) 自律神経の機能と構造 2) 自律神経の神経伝達物質と受容体 内分泌系による調節 1) ホルモンとは 2) ホルモンの化学構造と作用機序 3) 内分泌器官の構造とホルモンの機能 (視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体、 膵島、副腎皮質、副腎髄質、性腺ホルモン、 消化管ホルモン) 4) ホルモン分泌の調節の実際 (調整ホルモン・拮抗ホルモン、フィード バック機構) 第15回 まとめ・終了試験		
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院				
講師からのメッセージ	模型や視聴覚教材を使用して各称や働きを確認する。 咀嚼・嚥下、消化と吸収、ホルモンの種類、ホルモンの分泌調節、内分泌器官の構造とホルモンの機能など、国家試験出題基準を確認し学習すること。				